

新規就農者の実績評価・改善計画を支援するシステム

「CAPSS ; Check-Act-Plan Support System」

経営実績の分析から改善計画の策定までの活動を支援するシステム「CAPSS」を構築しました。「CAPSS」は、①新規就農計画の検討、②経営実績の分析、③経営改善案の検討、④改善計画の策定などの活用場面に応じた利用ができます。そのため特に、新規就農の支援担当者による利用が期待できます。

☆ 技術の概要

1. 「CAPSS」は、マネジメントサイクルを想定して、農業経営における経営実績の分析 (Check)、改善案の検討 (Act)、改善計画の検討 (Plan) に関わる活動を総合的に支援するシステムです。そのため名称は、Check-Act-Plan Support System、略して「CAPSS」と称します。
2. 「CAPSS」は、「営農計画策定支援システム Z-BFM」、「財務計画モジュール」、「Web 版農業経営診断サービス」、「Web 版標準値データ取得サービス」、「経営指標管理支援プログラム」、「標準値データベース」の六つのソフトウェアで構成され、ソフトウェア間でデータ連携を図りながら利用します (図)。

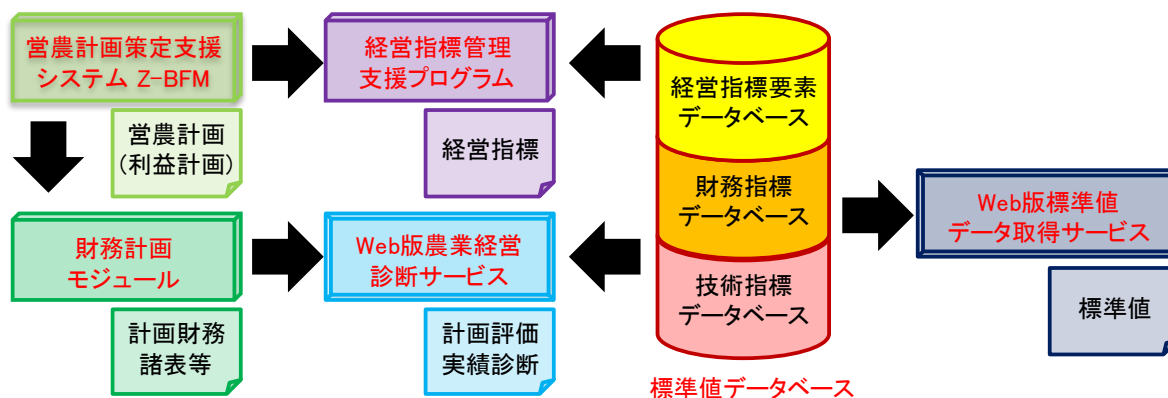


図 CAPSS の全体構成

3. 「標準値データベース」を備えることで、経営実績のない新規就農者への営農計画策定から、経営実績の評価までを行うことができます。
4. 収益性の観点から農業所得を最大にする可能性がある作付計画を策定し、その財務安全性についても事前に評価することができます。

☆ 活用面での留意点

1. 本システムの一連のソフトウェアは、利用マニュアルとともに、中央農業総合研究センターの「農研機構 | 経営管理システム」のウェブページ (<http://fmrp.dc.affrc.go.jp/>) からダウンロードや利用ができます。
2. 詳細は、中央農業総合研究センター農業経営研究領域 (fmnarc@affrc.go.jp) にお問い合わせ下さい。(中央農業総合研究センター 主任研究員 松本 浩一)